



「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和6年4月30日（火）		岐阜県発表資料	
担当課	担当係	担当者	電話番号
文化祭総務企画課	県民運動係	鈴木 一史	内線 3163 直通 058-272-8127 FAX 058-278-2551

＜「清流の国ぎふ」文化祭2024 県民運動＞

清流文化地域推し活動『ちーオシ』

「ちーオシスタチュー」制作ワークショップを開催します！

（5月2週目分）

「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催機運を盛り上げる県民運動として、「清流文化地域推し活動」（愛称『ちーオシ』）を進めています。

下記のとおり、市町村が選んだ文化の「推し」をモチーフにした「ちーオシスタチュー」の制作ワークショップの詳細が決定しましたので、お知らせいたします。

記

○開催日時・場所・内容

5月2週目に開催する市町村のワークショップは次のとおりです。

市町村名	日時	場所	内容※	テーマとなる「推し」
土岐市	5月11日（土） 13時00分～16時00分	土岐市役所 1階 多目的スペース (土岐津町土岐口2101)	(1)	遊び心

※次頁のワークショップ【内容】を参照

今後は、毎週火曜日に翌週火曜から翌々週月曜までのワークショップの開催予定をお知らせします。（次回は5月7日）

○制作ワークショップの概要

【期間】令和6年4月から8月まで

【場所】各市町村の公共施設等

【内 容】市町村が選定した文化の「推し」をモチーフに、和紙や竹を素材として制作する行灯状の造形物「ちーオシスタチュー」を制作

- (1) 竹組み（竹で「推し」の形を組みます）
- (2) 和紙の色付け、電球取付け（和紙に色を付けるとともに、竹組みに電球を取り付けます）
- (3) 和紙の貼付け（色付けした和紙を竹組みに貼り付けて、ちーオシスタチューを完成させます）

※市町村によっては、ワークショップの内容・順番・回数が変わります。

【参加者】市町村により参加者の募集方法が異なります。（20名程度）

○参考情報

ワークショップの詳細については、右記 2 次元コード（土岐市ホームページ）をご覧ください。

<https://www.city.toki.lg.jp/kanko/koza/1004847/1008691.html>



○土岐市で制作するちーオシスタチューのデザインイメージは以下のとおりです。下記デザインについては、日比野総合プロデューサーが制作しました。

【土岐市】



◆「清流の国ぎふ」文化祭2024の概要◆

- 1 正式名称 「第39回国文化祭」「第24回全国障害者芸術・文化祭」
- 2 統一名称 「清流の国ぎふ」文化祭2024（両大会をあわせた名称）
- 3 基本方針
 - ①「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信
 - ②次世代を見据えた文化芸術の創造
 - ③文化芸術で人が輝く共生社会の実現
 - ④国民文化の大交流の実現
- 4 キャッチフレーズ ともに・つなぐ・みらいへ ～ 清流文化の創造 ～
- 5 主催者 岐阜県、文化庁、厚生労働省 ほか
- 6 会期 令和6年10月14日(月・祝)～11月24日(日) 42日間

◆清流文化地域推し活動『ちーオシ』について◆

地域の「推し」を住民協働で見つけだし、文化祭の開会式に持ち寄って披露するアートプロジェクトが「清流文化地域推し活動」（ちーオシ）です。

全市町村において「コミュニケーター」が主導しながら「推し」の選定や「ちーオシスタチュー」の制作を進めていきます。

このプロセスを通して開催機運を盛り上げるとともに、地域の活性化を目指しています。

▶コミュニケーター

- ・当事業における地元のリーダー（各市町村から選出）
- 「推し」の選定プロセスに参画し、オブジェ制作を主導

▶地域の「推し」

- ・地域でこれからも大事にしたい、共有したいイチオシの文化（令和5年度中に選定済み）

▶ちーオシスタチュー

- ・市町村が選定した「推し」をモチーフに、和紙や竹を素材として制作する行灯状の造形物
- ・文化祭の総合プロデューサーを務める日比野克彦氏がデザイン画を制作・監修
- ・令和6年4月から8月まで制作ワークショップを実施

清流文化地域推し活動（愛称：『ちーオシ』）について



<https://gifu-bunkasai2024.pref.gifu.lg.jp/koku-shou-bunsai/chi-oshi/>